

クリーンセンターからの お願いです

クリーンセンター ☎(65)4343

ペットボトルの分別を お願いします

町では、ビン、缶、古着、古紙などと同様にペットボトルも大切な資源として有効利用するため、分別収集を実施しております。暑さが厳しくなるこれからの季節、清涼飲料の消費量が増加するに伴い、ペットボトルの排出量も7月から9月にかけて大変多く、特に8月は最も少ない3月と比較すると約2倍の排出量となっております。

資源として分別収集されたペットボトル以外にも、分別されずにもやすごみ袋に入れて出されるケースが特に多く見られます。もやすごみ袋で出されたペットボトル、雑がみ、古着は、他のもやすごみと混ざり、分別・リサイクルすることが困難となり、そのまま焼却処分されます。皆さんには、もやすごみではなく資源として、下記の分別方法を確認し、ルールを守って出してください。



もやすごみ袋で出されたペットボトル

分別方法をきちんと 守りましょう

- ① キャップを取る
- ② ラベルをはがす
- ③ 中を洗う
- ④ かるくつぶす
- ⑤ 第1・3の収集日に、収集場所の青色回収ネット袋に直接入れる



リサイクルマークがついているものが対象となりますが、油や汚れのひどいものは「もやすごみ」で出してください。

ペットボトルは大切な 資源です

きちんと分別されたペットボトルは資源として売却でき、町の収入にもなりますが、もやすごみで出されたペットボトルは、そのまま焼却処分されます。ごみを焼却することで多額の費用が掛かり、さらに、温室効果ガス(CO₂)が発生し、地球温暖化につながります。ペットボトルの分別、リサイクルにより、焼却するごみを少しでも減らすことができれば、資源の節約、地球環境保全、ごみ処理経費の削減となります。

雑がみ・古着類を資源として、ごみステーションで回収しています

平成29年度より雑がみ・古着類を資源として、ごみステーションで回収しています。きちんと分けることで「ごみ」ではなくリサイクル可能な「資源」として生まれ変わります。限られた資源を有効利用するためには、一人ひとりの取り組みが重要となります。皆さんには、日々の生活を見



古着 出し方の例



雑がみ 出し方の例

つめなおし、分別ルールを心がけて、ごみの減量とリサイクルにご協力ください。
なお、雑がみ・古着類の詳細な分別方法については、3月に毎戸配布された「平成29年度ごみと資源の出し方・分け方変更点等のお知らせ」をご覧ください。

小型充電式電池(パ テリー)は「もやすご み」袋には絶対に入 れないでください

家電製品、おもちゃなどに使用されている小型充電式電池は、本体から取り外し「不燃物」として出していただく必要がありますが「もやすごみ」袋に入れて出されているケースが見受けられます。小型充電式電池の外見は、プラスチックで覆われていますが、製品の中に金属が使用されているため「不燃物」となります。

皆さんには、出す前によく確認し、乾電池と混ぜずに別々の袋に小分けにし「不燃物」として「しげんごみ」袋(透明)に入れて出してください。



小型充電式電池